

『ひろがることは 小学国語 二下』年間指導計画・評価計画（案）

単元・教材のねらいと、「学習指導要領」に示された「指導事項」「言語活動例」から、あてはまるものを表示。重点指導事項には、◎を付した。

◇話すこと・聞くこと ■書くこと □読むこと △知技 ☆他教科との関連

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 (学習事項(1)・言語活動例(2))	時	学習活動	評価規準
10	—	二年生で学ぶこと				
10	11 (話す聞く<3>)	— じゅんじょや様子に気をつけて読もう	□さけの成長について、季節や場所、さけの様子の移り変わりを考えながら、内容の大体を読む。			
		さけが大きくなるまで	<p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことなどを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア</p> <p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒知技(1)カ</p> <p>△共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア</p> <p>△相手に伝わるよう、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 ⇒思判表A(1)イ</p> <p>□時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)ア</p> <p>□文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。 ⇒◎思判表C(1)ウ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒◎思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア</p> <p>□事物の仕組みを説明した文章などを読み、分かったことや考えたことを述べる活動。 ⇒思判表C(2)ア</p> <p>☆生活科：順序に気をつけて観察文などをまとめたり、調べたことを発表したりする。</p>	<p>1 ○学習に見通しをもつ。 確かめよう 1. さけについて知っていることや、写真を見て考えたことを話し合う。 (1) おもしろいと思ったこと、不思議に思ったことの二つの視点で感じたことを短い文で書く。 (2) 書いた事柄をクラス全体で交流する。 (3) 今後の学習の流れを確かめる。</p> <p>2~5 考え方 2. さけが大きくなる様子を、時・場所・大きさや様子を表す言葉に気をつけ、まとめる。 (1) 「時」「場所」「大きさや様子」が書かれた言葉にサイドラインを引く。 (2) サイドラインを手がかりにして、表にまとめる。 (3) 全体で交流し、まとめたことの確認をする。</p> <p>6~8 深めよう 3. 写真を使って、さけが大きくなる様子を説明する。 (1) 教科書の順に、川を上る写真から説明を行う。 (2) 説明の感想を友達どうしで伝え合う。 (3) 説明の仕方がわかりやすかったか、振り返る。 (4) 卵の写真から説明を行う。</p> <p>9・10 広げよう 4. さけが大きくなる様子について、わかったことや考えたことをノートに書いて、発表し合う。 (1) 本で調べたことをノートに書く。 (2) 書いたことを友達どうしで発表する。</p> <p>11 (3) 発表についての感想を交流する。 ○学習を振り返る。</p>	<p>◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（〔知識及び技能〕(2)ア）</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aイ）</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cウ）</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ）</p> <p>【態度】積極的に文章の中の重要な語や文を考えて選び出し、学習課題に沿ってさけが大きくなる様子を説明しようとしている。</p>	

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（1）・言語活動例（2）〉	時	学習活動	評価規準
10 ～ 11	10 (書く 10)	二 様子をよく見て、くわ しく書こう	■見つけた物の様子をよく見て、様子が伝わるよ うに詳しく書く。			
		おもしろいもの、見つけた よ	<p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中 で使うとともに、言葉には意味による語句のま とまりがあることに気付き、語彙を豊かにするこ と。 ⇒◎知技(1)オ</p> <p>△共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関 係について理解すること。 ⇒知技(2)ア</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くこと を見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりし て、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表 B(1)ア</p> <p>■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の 順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判 表B(1)イ</p> <p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内 容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫す ること。 ⇒思判表◎B(1)ウ</p> <p>■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違い を正したり、語と語や文と文との続き方を確かめ たりすること。 ⇒思判表B(1)エ</p> <p>■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内 容や表現のよいところを見付けること。 ⇒◎思 判表B(1)オ</p> <p>■身近なことや経験したことを報告したり、観察 したことを記録したりするなど、見聞きしたこと を書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p> <p>☆生活科：題材は生活科で扱ったものから選ぶこ ともできる。</p>	<p>1 ○「学習の進め方」を読んで、学習の見通しをも つ。</p> <p>2 決めよう・集めよう 1. 見つけたものから、書くことを決める。</p> <p>3・4 組み立てよう 2. 見つけたものの様子をメモに書き、まとまりご とに並べる。</p> <p>5～7 書こう（重点） 3. 文章を書く。</p> <p>8 読み返そう 4. 書いた文章を、声に出して読み返す。</p> <p>9・10 伝え合おう（重点） 5. 友達と文章を読み合う。 ○学習を振り返る。</p>	<p>◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、文章の中 で使うとともに、言葉には意味による語句のまと まりがあることに気付き、語彙を豊かにしてい る。（【知識及び技能】(1)オ）</p> <p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と 文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分 かるように書き表し方を工夫している。（【思考力、判断力、表現力等】Bウ）</p> <p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章に対する 感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付 けている。（【思考力、判断力、表現力等】Bオ）</p> <p>【態度】進んで文章に対する感想を伝え合い、学習の見通しをも って記録する文章を書こうとしている。</p>	
	2	しを読もう てんとうむし 木	<p>□イメージの自由な広がりをとおして、詩を楽し む。</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中 で使うとともに、言葉には意味による語句のま とまりがあることに気付き、語彙を豊かにするこ と。 ⇒◎知技(1)オ</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具 体的に想像すること。 ⇒◎思判表C(1)エ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有 すること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりし て、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりす る活動。 ⇒思判表C(2)イ</p>	<p>1 1. 『てんとうむし』を読み、この詩のおもしろい ところと、わからないところを話し合う。</p> <p>2. 「ちいさくてもぞうとおなじいのちをいっこ もっている」という一節をどう思うか、話し合う。</p> <p>3. 『木』を音読して、どのような木か、大きさや 形などを想像し合う。</p> <p>4. 詩を視写し、絵を描いたり思ったことを書いた りして、考えたことを発表し合う。</p>	<p>◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、言葉には 意味によ る語句のまとまりがあることに 気付き、語彙を豊かにしてい る。（【知識及び技能】(1) オ）</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読む こと」において、場面の様子に 着目して、登場人物の行動を具 体的に想像している。（【思考 力、判断力、表現力等】Cエ）</p> <p>【態度】進んで言葉の響きなど に気を付けて、学習の見通しをも って感想を発表しようとして いる。</p>	

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（1）・言語活動例（2）〉	時	学習活動	評価規準
11	12	三、だれが、どのようにかわったかを考えて読みもう	□△登場人物したことや言ったこと、場面の様子を読み、読書の世界を広げる。			
11	7	ないた赤おに	<p>□登場人物の気持ちの移り変わりを考えながら、『ないた赤おに』を読み、心に残ったことを話し合う。</p> <p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒知技(1)力</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒②知技(1)ク</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒②思判表C(1)エ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒②思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p> <p>☆道徳：B 友情、信頼 友達と仲よくし、助け合うこと。</p>	<p>1・2 ○学習に見通しをもつ。</p> <p>確かめよう 1. 主な登場人物とできごとを確かめる。 考えよう 2. 赤おにが変わったところがあるか、人間たちや青おにとの関わりから考える。</p> <p>3・4</p> <p>5～7 ○学習を振り返る。</p> <p>深めよう 3. 赤おにと青おにを、それぞれどのような鬼だと思うか。</p> <p>広げよう 4. このお話を読んで、心に残ったところとその訳を紹介し合う。</p>	<p>◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（〔知識及び技能〕(1)ク）</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cエ）</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ）</p> <p>【態度】進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習課題に沿って心に残ったところを文章にまとめようとしている。</p>	
11	5	「お話しじゅつかん」を作ろう	<p>△自分の読んだ本の中でいちばん心に残ったところを絵に描いて紹介する。</p> <p>△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒知技(1)ア</p> <p>△読書に親しみ、いろいろな本があることを知ること。 ⇒②知技(3)エ</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒②思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒②思判表C(1)カ</p> <p>□学校図書館などを利用し、図鑑や科学のことについて書いた本などを読み、分かったことなどを説明する活動。 ⇒思判表C(2)ウ</p>	<p>8・9 ○本の中でいちばん心に残ったところを絵に描いて紹介するという学習内容をつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <p>1. 読みたい本を探して読み、心に残ったことやその訳をメモする。</p> <p>10・11 2. 「お話しじゅつかん」の作品を作る。</p> <p>(1) 紹介したい本を選び、心に残ったところを絵に描く。</p> <p>(2) 作品に題名を工夫してつけ、展示する。</p> <p>12 3. 「お話しじゅつかん」の作品の前で、本を紹介し合う。</p>	<p>○学習を振り返る</p>	<p>◎【知識・技能】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。（〔知識及び技能〕(3)エ）</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ）</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）</p> <p>【態度】積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を紹介しようとしている。</p>

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（1）・言語活動例（2）〉	時	学習活動	評価規準
11	8 (話す聞く8)	四 しつもんしたり答えた りして、話し合おう	△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことなどを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒ 知技(1)ア △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒ 知技(2)ア ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選択すること。 ⇒ 思判表A(1)ア ◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 ⇒ 思判表A(1)イ ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒ 思判表A(1)ウ ◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒ 思判表A(1)エ ◇互いの話に关心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。 ⇒ 思判表A(1)オ ◇尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。 ⇒ 思判表A(2)イ			
		「クラスお楽しみ会」をひらこう	△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことなどを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒ 知技(1)ア △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒ 知技(2)ア ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選択すること。 ⇒ 思判表A(1)ア ◇相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 ⇒ 思判表A(1)イ ◇伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒ 思判表A(1)ウ ◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒ 思判表A(1)エ ◇互いの話に关心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐこと。 ⇒ 思判表A(1)オ ◇尋ねたり応答したりするなどして、少人数で話し合う活動。 ⇒ 思判表A(2)イ	1	○単元名やリード文を読んで「クラスお楽しみ会」を開くことを知り、クラス遊びの内容を決める話し合いについての流れを捉える。 決めよう・集めよう 1. やりたい遊びを考える。	◎【知識・技能】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 (〔知識及び技能〕(2)ア)
				2・5	組み立てよう 2. 考えた遊びとその理由をカードに書く。 話そう・聞こう（重点） 3. 話し合いを行い、クラスに伝える。	◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、互いの話に关心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 (〔思考力、判断力、表現力等〕 Aオ) 【態度】積極的に互いの話に关心を持ち、今までの学習を生かして少人数で話し合おうとしている。
				6・7	(1) カードを使って、互いに質問したり答えたりする。 ・発言のまとめ方を知り、グループのカードを分類し、似た遊びをまとめる。 (2) グループの話し合いをクラスに伝える。	
				8	伝え合おう 4. 感想を伝え合う。 ○手順にそって話し合いが進められたか、また、話し合いの時にわかりやすく理由を話したり、わからないことを確かめたり、質問したりできたかなど、学習を振り返る。	
11	5 (書く5)	みじかい言葉で	■心が動いたことを短い言葉で書く。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことなどを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒ 知技(1)ア △身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 ⇒ 知技(1)オ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒ 思判表B(1)ウ ■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒ 思判表B(2)ウ	1	○P54・55を読み、学習活動を理解して見通しをもつ。	◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことなどを伝える働きがあることに気付いている。 (〔知識及び技能〕(1)ア)
				2	1. 教科書の詩を読み、作者は何を感じて心が動いたのか、それをどのように書いたのかを話し合う。	◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 (〔思考力、判断力、表現力等〕 Bウ)
				3・4	書こう・読み返そう（重点） 2. 心が動いたことを短い言葉で書く。 (1) 気づいたことや、その時の気持ちを、短い言葉で書く。	【態度】積極的に語と語や文との続き方に注意しながら、学習の見通しをもって心が動いたことを短い言葉で書こうとしている。
					(2) ペアの友達と交換して作品を読み合い、自分が書いた言葉を読み返し、さらに取り入れたい表現などがあれば書きかえる。	
				5	伝え合おう 3. クラスの友達と読み合い、感想を伝え合う。 ○学習を振り返る。	

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（1）・言語活動例（2）〉	時	学習活動	評価規準
12	2	漢字の広場 ④ 漢字のつかい方と読み方	△漢字の使い方や読み方、意味などを考えて漢字を正しく使う。 △第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ	1	○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 1. 「生」という漢字のいろいろな使い方を考える。 2. P56上段の設問をもとに「生」の読み方について、話し合う。 3. 「後」「行」「通」の読み方と、それぞれの意味の違いを考え、話し合う。	◎【知識・技能】当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。 (〔知識及び技能〕(1)エ) 【態度】積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって漢字を正しく使おうとしている。
12	2 (書く 2)	漢字の広場 ④ 一年生で学んだ漢字 ③	△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 △第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒知技(1)カ ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ ■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ	3・4	7. 絵の中の言葉の読み方を確認する。 8. 教科書の絵と言葉を参考に、絵に描かれている様子から想像できる短文を作り、語と語の続き方に注意して文を書く。 9. 主語と述語のつながりに気をつけて、絵の中の言葉を使って2文以上が続くように書き、発表し合う。 ○学習したこと振り返る。	◎【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 (〔知識及び技能〕(1)エ) ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 (〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ) 【態度】積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文や文章を書こうとしている。

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（1）・言語活動例（2）〉 を書く活動。 ⇒思判表B（2）	時	学習活動	評価規準
			☆生活科：題材は生活科で扱ったおもちゃから選ぶこともできる。		○学習を振り返る。	

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標	時	学習活動	評価規準
			学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉			
1	2	しを読もう せかいじゅうの海が	<p>□イメージの自由な広がりをとおして、詩を楽しむ。</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 ⇒◎知技(1)オ</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒知技(1)ク</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒◎思判表C(1)カ</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p>	1	1. 『せかいじゅうの海が』を読み、「どんなに大きな……だろな。」という言い方で自由に想像して、話し合う。	<p>◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。（〔知識及び技能〕(1)オ）</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ）</p> <p>【態度】積極的に文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、学習の見通しをもって想像したことを発表しようとしている。</p>
				2	2. 「せかいじゅうの○○が」を自由に想像させ、絵に描いたり思ったことを書いたりして、発表し合う。	

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（1）・言語活動例（2）〉	時	学習活動	評価規準
1	11 (話す聞く<3>)	六 場面や人物の様子をくわしく読もう	△様子を詳しく読んで、読み方を工夫して音読発表会を開く。			
		かさこじぞう	<p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 ⇒知技(1)オ</p> <p>△語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。 ⇒④知技(1)ク</p> <p>△昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しみこと。 ⇒知技(3)ア</p> <p>△伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ</p> <p>△話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒思判表A(1)エ</p> <p>□場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ</p> <p>□場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ</p> <p>□文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒思判表C(1)オ</p> <p>□文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒思判表C(1)カ</p> <p>△紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア</p> <p>□読み聞かせを聞いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ</p> <p>☆道徳：C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 我が国や郷土の文化と生活に親しみ、愛着をもつこと。</p>	1・2 3・4 5・6 7・8 10・11	<p>○単元全体の学習に見通しをもつ。 確かめよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 『かさこじぞう』の音読発表会を開くために、教材文を読んでいくことを確認する。 <ol style="list-style-type: none"> 主な登場人物を確認する。 主なできごとと、何が変わったのかを確認する。 <p>考えよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちを考えながら詳しく読む。 <ol style="list-style-type: none"> じぞうさまは、なぜ、いろいろなものをじいさまとばあさまの家に持っていたのでしょうか。 じいさまとばあさまは、どのような人物だと思つか。わかるところを見つけて紹介し合う。 <p>深めよう</p> <ol style="list-style-type: none"> いちばん好きな場面とその説を紹介する。 <p>広げよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 音読発表会の準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> グループで好きな場面を音読劇にする。どこを、どのように工夫して読むのか相談する。 音読発表会をする。 <ul style="list-style-type: none"> 音読発表会を行い、他のグループの発表のよいところをノートに書いて伝え合う。 <p>○学習を振り返る。</p>	<p>◎【知識・技能】語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。（【知識及び技能】(1)ク）</p> <p>【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。（【思考力、判断力、表現力等】Aウ）</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（【思考力、判断力、表現力等】Cエ）</p> <p>◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（【思考力、判断力、表現力等】Cカ）</p> <p>【態度】進んで場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像し、学習の見通しをもって音読発表会をしようとしている。</p>
1	3	むかしのあそび	<p>△日本に古くから伝承されている昔遊び（正月遊び）を知り、実際に遊ぶことを通してその魅力を知る。</p> <p>△昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しみこと。 ⇒知技(3)ア</p> <p>△長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。 ⇒④知技(3)イ</p>	1 2・3	<p>1. 正月に見られる「門松」「初夢」「お年玉」「書初め」「鏡餅」などについての簡単な由来を知る。</p> <p>2. 昔遊び（正月遊び）に見られる「羽根つき」「たこあげ」「福笑い」「こままわし」「かるたとり」をする理由を知り、実際に遊んでみる。</p>	<p>◎【知識・技能】長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付いている。（【知識及び技能】(3)イ）</p> <p>【態度】進んで長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くことや経験したことに対する興味をもってかかるたを楽しもうとしている。</p>
1	4 (話す聞く<4>)	むかしのあそびをせつめいしよう	<p>△昔の遊びについて、遊び方を調べて説明する。</p> <p>△音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気付くとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すこと。 ⇒④知技(1)イ</p> <p>△身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア</p> <p>△相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えること。 ⇒④思判表A(1)イ</p> <p>△伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ</p> <p>△話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒思判表A(1)エ</p> <p>△紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア</p>	1 2・3 4	<p>○昔の遊びから一つ選んで、遊び方を調べて友達に説明するという学習の見通しをもつ。</p> <p>決めよう・集めよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 説明する遊びを決め、遊び方を調べる。 <ol style="list-style-type: none"> 新しく知った昔の遊びから説明する遊びを選ぶ。 遊び方を調べる。 <p>組み立てよう（重点）</p> <ol style="list-style-type: none"> 説明のメモを書き、話す練習をする。 <ol style="list-style-type: none"> 同じ遊びを選んだ人どうして遊び方を確かめながら、説明のためのメモを書く。 メモをもとに、遊び方について順序に気をつけて説明する練習をする。 <p>話そう・聞こう</p> <ol style="list-style-type: none"> 遊び方を説明する。 <p>○学習を振り返る。</p>	<p>◎【知識・技能】姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。（【知識及び技能】(1)イ）</p> <p>◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。（【思考力、判断力、表現力等】Aイ）</p> <p>【態度】進んで相手に伝わるように話す事柄の順序を考え、今までの学習を生かして昔の遊びの遊び方を説明しようとしている。</p>

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（1）・言語活動例（2）〉	時	学習活動	評価規準
2	3	主語とじゅつ語	△文を読んで、主語と述語の対応を考え、正しく使うことができる。 △文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒○知技(1)カ △共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア	1 2 3	○冒頭の会話文をとおして、文作りにおいて主語と述語の対応が重要だということを知る。 1. 省略されている主語を考えることをとおして、主語を明示することの重要性に気づく。 2. 教科書を読みながら、①～③の例文の形を確認していく。 3. ①～③の例文と同じ形の文を作る。	○【知識・技能】文の中における主語と述語との関係に気付いている。（〔知識及び技能〕(1)カ） 【態度】積極的に文の中における主語と述語との関係に気付き、学習の見通しをもって文を読んだり書いたりしようとしている。
					○学習したことを振り返る。	
2	2	漢字の広場 ⑤ 同じ読み方の漢字	△同じ読み方の漢字を集め、漢字を正しく使う。 △第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒○知技(1)エ	1 2 3	○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。 1. P102上段の設問について考える。 2. 同じ読み方をする漢字を集めて文を作り、友達と読み合い、それぞれの漢字の意味や使い方の違いについて話し合う。 3. P103の「か」「とう」「し」と読む漢字を集めて語句を作り、発表し合う。 4. 同じ読み方をする漢字を集めて問題を作り、解答し合う。	○【知識・技能】当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。（〔知識及び技能〕(1)エ） 【態度】積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって同じ読み方の漢字を正しく使おうとしている。
					○学習したことを振り返る。	

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（1）・言語活動例（2）〉	時	学習活動	評価規準
2	13 (書く 13)	七 じゅんじょに気をつけ て書こう	■したことや身のまわりのできごとの中から書くことを見つけ、思い出して、順序を考えて書く。			
		こんなことができるようになったよ	<p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)ウ</p> <p>△丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れること。 ⇒知技(1)キ</p> <p>■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア</p> <p>■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ</p> <p>■語と語や文と文との継ぎ方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ</p> <p>■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との継ぎ方を確かめたりすること。 ⇒◎思判表B(1)エ</p> <p>■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒◎思判表B(1)オ</p> <p>■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア</p>	<p>1 ○「学習の進め方」を読んで、学習の見通しをもつ。</p> <p>2 決めよう・集めよう 1. できごとを思い出して、書くことを決める。 (1)これまでのできごとの中から心に強く残っていることを発表し合い、文章に書く題材について考える。</p> <p>(2) 文章に書きたい題材を一つ選び、何を書くのかを詳しく思い出して、メモに書き出す。</p> <p>3～5 組み立てよう 2. 文章の組み立てを考える。</p> <p>6～10 書こう・読み返そう（重点） 3・4. メモの順序にそって、文章を書き、読み返す。 (1) 文章を書く。 (2) 書いた文章を読み返す。</p> <p>11～13 伝え合おう（重点） 5. できあがった文章を読み合い、感想を伝え合う。 ○学習を振り返る。</p>	<p>◎【知識・技能】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)ウ</p> <p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との継ぎ方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ⇒思判表B(1)ウ</p> <p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章に書き返す習慣を付けているとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との継ぎ方を確かめたりしている。 ⇒思判表B(1)エ</p> <p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 ⇒思判表B(1)オ</p> <p>【態度】積極的に、間違いを正したり、語と語や文と文との継ぎ方を確かめたりし、学習の見通しをもって文章を書こうとしている。</p>	
2	3	音や様子をあらわす言葉	<p>△擬声語や擬態語のはたらきなどを理解し、文の中で使うことができる。</p> <p>△長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」、「へ」及び「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うこと。また、平仮名及び片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)ウ</p> <p>△身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。 ⇒◎知技(1)オ</p>	<p>1 ○言葉には、音や様子を表すことができるものがあることを理解し、学習活動に対する見通しをもつ。</p> <p>1. 「音をあらわす言葉」のはたらきや表記の仕方について理解する。</p> <p>2. 「様子をあらわす言葉」のはたらきや表記の仕方について理解する。</p> <p>2 3. 濁音の有無によって、「音や様子をあらわす言葉」から受ける感じが異なることを理解する。</p> <p>4. 単純形と反復形によって、「音や様子をあらわす言葉」から受ける感じが異なることを理解する。</p> <p>3 5. 音や様子を表す言葉を使って文を書く。</p> <p>○学習したこと振り返る。</p>	<p>◎【知識・技能】身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにしている。 ⇒◎知技(1)オ</p> <p>【態度】積極的に、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、学習の見通しをもって文の中で使おうとしている。</p>	

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項(1)・言語活動例(2)〉	時	学習活動	評価規準
2	2	漢字の広場 ⑥ 組み合わせてできている漢字	<p>△同じ部分をもつ漢字を集め、漢字を正しく使う。</p> <p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ</p> <p>△共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒知技(2)ア</p>	1	<p>○学習内容を理解し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1. 「明」という漢字の分け方を考える。</p> <p>2. 漢字の中には、左右・上下・内外などに分かれるものがあることを確かめ、漢字の組み立て方に一定のきまりがあることを理解する。</p> <p>3. 「心・田」などの漢字を組み合わせてできる漢字を考え、話し合う。</p> <p>4. 「心・田」などと同じような問題を作り、解だし合う。</p> <p>5. 熟語を手がかりに、「言」の部分をもつ漢字を探し、発表する。</p> <p>6. 「日」「土」「田」など、同じ部分（構成要素）をもつ漢字を集めて問題を作り、発表する。</p>	<p>◎【知識・技能】当該学年までに配当されている漢字を読んでいる。（〔知識及び技能〕(1)エ）</p> <p>【態度】積極的に当該学年までに配当されている漢字を読み、学習の見通しをもって同じ部分をもつ漢字を正しく使おうとしている。</p>
2 (書く 2)		漢字の広場 ⑥ 一年生で学んだ漢字 ④	<p>△絵を見て想像したことをもとに、1年生で学んだ漢字などを使って文を書く。</p> <p>△第2学年においては、学年別漢字配当表の第2学年までに配当されている漢字を読むこと。また、第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第2学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ</p> <p>△文の中における主語と述語との関係に気付くこと。 ⇒知技(1)カ</p> <p>■語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表B(1)ウ</p> <p>■文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすること。 ⇒思判表B(1)エ</p> <p>■簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ</p>	3・4	<p>7. 絵の中の言葉の読み方を確認する。</p> <p>8. 教科書の絵と言葉を参考に、絵に描かれている様子から想像できる短文を作り、語と語の続き方に注意して文を書く。</p> <p>9. 男の子と女の子の目に映ったものを、主語と述語のつながりに気をつけて、2文以上が続くように書き、発表し合う。</p> <p>○学習したことを振り返る。</p>	<p>◎【知識・技能】前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。（〔知識及び技能〕(1)エ）</p> <p>◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bウ）</p> <p>【態度】積極的に前学年で配当されている漢字を書き、学習の見通しをもって文を書こうとしている。</p>

月	時数	単元名・教材名	単元／教材の目標 学習指導要領との対応 〈学習事項（1）・言語活動例（2）〉	時	学習活動	評価規準
2～3	16 (書く4)	八 場面の様子や登場人物の行動に気をつけて読もう	□お話を順序に気をつけて読み、あらすじをまとめて紹介する。 △言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことなどを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒◎知技(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒◎思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒◎思判表C(1)カ ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことなどを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア □読み聞かせを開いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳：B 友情、信頼 友達と仲よくし、助け合うこと。			
		アレクサンダとぜんまいねずみ	△言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことなどを伝える働きがあることに気付くこと。 ⇒◎知技(1)ア ■自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。 ⇒思判表B(1)イ □場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。 ⇒思判表C(1)イ □場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。 ⇒思判表C(1)エ □文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。 ⇒◎思判表C(1)オ □文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。 ⇒◎思判表C(1)カ ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを記録したりするなど、見聞きしたことなどを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア □読み聞かせを開いたり物語などを読んだりして、内容や感想などを伝え合ったり、演じたりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳：B 友情、信頼 友達と仲よくし、助け合うこと。	1 2・3 4～11 12・13 14～16	○単元全体の学習に見通しをもつ。 1. 『アレクサンダとぜんまいねずみ』を読み、初発の感想を交流したり、語句の確認をしたりする。 確かめよう 1. あらすじをまとめて身近な人に紹介するために、お話を詳しく読む。 (1) 登場人物や主なできごとを確かめる。 ・登場人物の特徴を整理する。 ・場面ごとにアレクサンダのしたことや話したことなどを確かめる。 (2) 物語の始めと終わりで、何が変わったかを話し合う。 考え方 2. 場面ごとの登場人物の気持ちを詳しく読む。 (1) アレクサンダは、いつ自分の考えを変えたのか、話し合う。 (2) アレクサンダは、なぜ考えをかえたのか、話し合う。 深めよう 3. アレクサンダが考えを変えたことについて、自分の考えを発表し合う。 広げよう 4. この話を誰に紹介するのかを決め、自分が興味・関心をもったところを中心にあらすじをまとめて書き、それをもとに紹介し合う。 ○学習を振り返る。	◎【知識・技能】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことなどを伝える働きがあることに気付いている。（〔知識及び技能〕(1)ア） 【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bイ） ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cオ） ◎【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（〔思考力、判断力、表現力等〕Cカ） 【態度】進んで文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもち、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。
3	2 (話す聞く1,書く1)	国語の学習 これまでこれから	◇■一年間の国語学習を振り返ったり、これから学習について考えたりして、楽しみながら学習できるようにする。 ◇身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。 ⇒思判表A(1)ア ◇話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつこと。 ⇒◎思判表A(1)エ ■経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表B(1)ア ■文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)オ ◇紹介や説明、報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて声に出して確かめたり感想を述べたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア ■身近なことや経験したことを報告したり、観察したことを見付けたりするなど、見聞きしたことを見付けて、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア） 【態度】進んで経験したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして思い出したことや三年生でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。	1 2	1. 一年間の国語の学習で学んできたことや言葉を思い出して書いたり、出し合ったりする。 2. 1. で出し合ったことをもとにして、三年生の国語で学びたいことを出し合う。	◎【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないよう集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Aエ） ◎【思考・判断・表現】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（〔思考力、判断力、表現力等〕Bア） 【態度】進んで経験したことから書くことを見付け、今までの学習を生かして思い出したことや三年生でどんな学習をしたいかを共有しようとしている。